

江府町立 小・中学校

コミュニティ・スクールだより

江府町コミュニティ・スクール推進委員会

第1号

平成29年7月10日

江府町教育委員会事務局



〈江府小学校〉

江府町では、国の補助事業「平成29年度コミュニティ・スクール導入促進事業」を受け、「江府町コミュニティ・スクール推進委員会」を設置しました。今後、このたよりを通して、コミュニティ・スクールについてお伝えしてまいります。



〈江府中学校〉

ところで…

コミュニティ・スクールって…なに?!



…ということで、コミュニティ・スクール推進委員会（以下、CS委員会）の第1回目の会合では、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）そのもの

について理解するための研修会を行いました。

講師としてお招きしたのは、県教委 福田課長補佐。国の動向や導入のメリットについて詳しくお話しいただき、江府町立小・中学校の今後のあり方を考えるCS委員会が、第一歩を踏み出しました。

コミュニティ・スクール導入促進の背景

子ども達を取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・困難化…



…しており、学校と地域の連携・協働が求められ、子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子ども達の豊かな成長のためには、

社会総掛かりでの教育の実現

が不可欠な時代になってきています。

それを実現するための仕組みが「コミュニティ・スクール」です。



さて…

学校と地域の連携・協働とは…?!

●地域とともにある学校への転換

- ✓地域でどのような子ども達を育てるのか
- ✓何を実現していくのか

という目標やビジョンを、学校と地域のみなさん、保護者のみなさんとで共有し、一体となって子ども達を育む「地域とともにある学校」へと転換していく必要があります。



●子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制の構築

- ✓子どもを軸に据えて
- ✓さまざまな機関や団体等がネットワーク化

を図りながら、住民自らが学び、教育の当事者として意識し行動していく「子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制」を構築する必要があります。



●学校を核とした地域づくりの推進～地方創生の観点から～

これからの子ども達には、地域に愛着と誇りを持ち、地域課題を解決していく力が求められています。

学校を核とした学校と地域の協働の取り組みを通じて、

- ✓地域の将来を担う人材の育成
- ✓自立した地域社会の基盤の構築

を図る「学校を核とした地域づくり」を推進していく必要があります。



ちなみに、学校と地域の連携・協働の仕組み「コミュニティ・スクール」とは、「学校運営協議会を設置している学校」のことです。

じゃあ…

学校運営協議会って…どんな会?!

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりするといった取り組みが行われます。



学校運営協議会の主な役割

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べることができる。

＜下記：コミュニティ・スクールのイメージ図参照＞

これらを通じて、保護者や地域のみなさんの意見を学校運営に反映させることができます。自分達の力で学校をより良いものにしていこうとする当事者意識も高まり、継続的・持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができます。

コミュニティ・スクールは、

「地域とともにある学校づくり」に有効なツール

なのです。

そこで…

CS委員会はこんなことをします

江府町 CS 委員会では、地域とともにある学校づくりに向け、今後の学校のあり方、学校運営協議会のあり方を検討し、コミュニティ・スクールへの移行の準備を進めています。

そのために、地域代表・保護者代表・学識経験者・学校管理職に委員になっていただき、学校や地域それぞれ



の課題を踏まえ、強みを生かした組織づくりについての協議を始めたところです。

委員紹介

委員長	副委員長
宮本 正啓 さん (学校評議員・地域代表)	傘井 浩史 校長 (江府中学校)
佐々木 満 さん (学校評議員・地域代表)	清水 忠良 さん (学校評議員・地域代表)
空場 語 さん (学校評議員・地域代表)	橋谷 久美 さん (学校評議員・地域代表)
中田 尚 さん (江府小保護者代表)	三輪 大輔 さん (江府中保護者代表)
上原 美千代 さん (学識経験者)	手嶋 千恵里 さん (学識経験者)
中島 昭生 校長 (江府小学校)	下村 敏彦 教頭 (江府小学校)
竹内 貴美 教頭 (江府中学校)	事務局：教育委員会

これからの教育は、学校だけでは成り立ちません。家庭や地域のみなさんのお力添えを得ながら、学校を元気に、そして、協働の取り組みを進めていく中で町全体が元気になるような好循環が生まれることを目指して、協議を進めてまいりたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願いします。

【コミュニティ・スクール イメージ図】

